とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

小坂山の開発に"待った"

厳しい農振解除

足寄町上利別奥の小坂山周辺の観光開発について、その前提となる農業振興地域の指定解除が意外におくれにおくれて三月までに解除にならなければ、四月一日からの道自然保護環境保全条例の施行にともなつて厳しい規制をうけることになるので、野上電鉄不動産による事業計画どおりの観光開発が実現するかどうかが心配されています。

農振地域のうちの混牧林なので支庁長権限で簡単に解除できるものとして、町では昨年の九月に売り払い議決をすませ、業者と売買契約をしたうえで解除申請の手続きにおよんだときには〝帯広の森〟から各町村の農外資本への農地売買が問題となつて農振解除が厳しくなり、小坂山は一千㌶もの大面積とあつて支庁の手から本庁の取扱いとなつて、本当に農地に適しないかどうかと、農業試験場から雪のなかを現地調査になつたもので、畑や草地や植林に適さない実態からいずれ農振解除は時間の問題とみられていますが、道の意向としてはここを別荘地にして土地を切り売りすることには難色を示しているようで、かなりの計画変更を求められた場合は、開発にあたる野上電鉄不動産として果して投資効果があるかどうかということになりそうです。

野上電鉄不動産の計画

同社の計画としては

△ゴルフ場
三六ホールズで、毎年五月から十月まで、利用客は道内三〇%、本州七〇%を見込み、冬期間はスキー場に利用

△スキー場
リフト三、五〇〇㍍、ロープ二、〇〇〇㍍で、毎年十二月から四月まで

△クラブハウス
鉄骨一、二〇〇平方㍍二階建、百名収容

△別荘地
五百坪から一千坪に分割八百戸

△管理センター
鉄筋二階建二六五平方㍍無線、テレックス設備

△遊歩道　四、〇〇〇㍍

△キャンプ場
五㌶、五百人収容、天幕大中小九〇張、自炊設備

△養殖池
二㌶地内に一、〇〇〇平方㍍の養殖池三カ所を造成、ほかに一五、〇〇〇平方㍍の放流池(冬期間はスケートリンクに)を造成して販売、つり堀

△サイクリングコース
一周三、〇〇〇㍍、自転車二〇台備付

△自然動物園
三㌶の園地に野生の熊、鹿、兎、山羊など

△ロッジ
鉄筋二階建一、〇〇〇平方㍍、百名収容

△モビレージ
五戸建(一戸三、四名収容)二カ所建設

△若人の家
鉄筋二階建一、三〇〇平方㍍

△野外競技施設
テニスコート四面、野球場一面、バレーボールコート二面その他

となつており、石油危機いらいのモノ不足、物価高騰総需要抑制、観光レジャー産業後退などの状勢変化にもかかわらず、同社では大手資本の協力を得て計画どおりに実行する態勢にあり町としても小林町長の緑の高原都市建設の一環として過疎打開のためにも行政的な協力をすすめています。

小坂山の観光開発が軌道に乗つた場合のメリットとして期待されるのは

一、固定資産税をはじめ町税の増収

二、建設にあたつて地元建設業者への発注

三、町外からの往来によつて購売量の増大

四、地元から採用するものとして

イ、ゴルフ場のキャディやホール整備員など六十五名

ロ、スキー場のリフト運転、入改札など十五名

ハ、クラブハウスに十五名

ニ、別荘地の管理人五名

ホ、管理センター三名

ヘ、遊歩監視人一名

ト、キャンプ場管理人五名

チ、養殖池管理人五名

リ、サイクリングコース管理人一名

ヌ、自然動物園管理人四名

ル、ロッジに十五名

ヲ、モビレージに二名

ワ、若人の家に十五名

カ、野外競技場に二名

などの雇傭増大

五、町民の保健、体育、レクリエーションの場

六、道内、道外との交流による効果

などがあげられています

そうで、それでは企業の入る余地はないわけです。

現地は農地として使えるところは大規模草地や北斗地区パイロットに活用し、こんごの帯広畜産大学の研究施設の分と開拓者の放牧地を除いた残りの傾斜地の石まじりの笹原一、〇〇〇㌶以内を売ることにしたもので、こうした熊や鹿だけしか利用していないところを農振地域に入れたこと自体がおかしなことで、これを有効に活用しようとすれば農振地域をタテにとつて道の担当係にとやかくいわれて町が昨年いらいこの一点でふりまわされている格好です。

町の所有に属する財産であり、町議会の産業委員会が調査して農業生産には不適で観光産業に利用をとの結論もあつて、町長はこれが住民のためであるとして提案し議会がこれを正当に議決して売買契約を結んで すでに町が内金を受けとり農業委員会では農振地域除外を認めて地目変更を決めたので町では一カ間にわたつて告示、縦覧のうえ異議のないことを確かめて道へ解除の手続きにおよんだもので、あとは道の事務的な形式的な許認可事項にすぎないのに、それ以上に町の政策に干渉するような形で農振解除を引き延ばしていることは同じ地方自治体である道と町との在り方に疑義がもたれるとともに、小林町長としてはこの小坂山開発は政治責任にかかわつていることで、それでなくても法律化されていた高速自動車道の足寄分岐点がほかへもつていかれ、石油ショックによる大型プロジェクトの見送りで学園都市は遠のくという状勢の変化に町民がガッカリしているところで―これらは国が決めることで町の責任ではないとしても―小坂山は町の意志によつてすすめた事業だけに、これもダメとなれば二期目の最終年度にある小林町政にとつては最悪の事態となりそうです。

小林町長の政治責任?

しかし町議会では小坂山を野上電鉄不動産へ売り払うことについてスンナリとOKしたわけではなく、昨年の八月から九月にかけての町議会での論議はかなり厳しかつたもので

一、この尨大な町有地を農外資本に売るべきでない

二、あの地帯を別荘地にするのは自然破壊となる

三、町民サイドに立つて町有地を活用すべきである

四、業者の計画に疑問がある

五、業者の私権に委ねるべきでなく、やるなら町も投資して公社方式がよい

などの意見があり、小林町長は『最終的には町長の私の責任で契約し私の全責任をもつ実行する』と決意を示し、『心配もあるが政治生命をかけてやるのか』とこれだけの事業を町がやれるものではなく、野上電鉄不動産では二十億円以上の資金を投じて建設するからにはそれ相当の利益をあげなければならないので、その主要な収入源は別荘地つきゴルフ場会員募集にあるものとみられますが、この〝目玉商品〟ともいうべき別荘地の区画割りができないとすれば同社として事業が成り立つかどうかで、それも同社のせいではなく町や道の都合によつて左右されようとするところに問題があり、道ではここを森林公園にしてはとのことだの質問にたいして小林町長は『充分責任をとる決意で提案した』と答弁したものの、あくまでも農外資本による開発に反対する議員や競願業者の共立グループを支持する議員もいて十五対七の多数決で議決しただけに、この開発事業が失敗すれば町長の政治責任が問われることになりそうです。

補正予算を議決　本別町議会

臨時第一回の本別町議会は二十日午前十時にひらき会期を一日として

▲渡島地方豪雨災害救援負担金　一四万九千円

▲白糠本別線促進期成会負担金　一万二千円

▲本別簡易裁判所庁舎落成祝賀協賛会助成一〇万円

の予算補正を議決、除雪用タヤイローダーショベル一台を九百六十万円で栗林商会帯広支店から購入契約の専決処分を承認したあと、全議員による決算審査特別委員会にうつしました。

国のうちそと

★一国の総理大臣が国会で施政方針演説をおこなうことになれば、国内外の注目をあつめる内容となるものですが、日本の場合は例によつて今回も内閣官房あたりの事務当局で書いた原稿の棒読みで、つづいて各党派からの代表質問にいする答弁もこれまた用意された原稿に頼り、ときたま興奮すればナニワ節できたえた田中首相のダミ声がテレビ、ラジオを通じて騒々しいだけのこと。

★国民総生産世界第三位の経済大国にふさわしく格調の高い国会論議ではなく各党とも同じような質問に政府側もスレ違いの答弁でお互いに相変らずの言いつ放しの併行線。

空しい国会論議よりも

★そして野党側はいずれも判で押したようにしめくくりは首相の退陣を要求―そういわれてやめるわけはないし、また、やめたあとを安心して任せられる野党があるわけでもなく、いつてみても空しい論議。

★目下のものすごい物価暴走に国会はなんの機能も果さず、二番せんじ、三番せんじの論議だけで、あとは与野党の教の力学で押し切られるだけのことで、これまで自民党政権をよしとして選択してきた国民はこの七月の参議院選挙にどう反応するのかが問題。

★しかしそれよりも前の四月中旬にはインフレ反対生活防衛を旗印にわが国ではじめてのゼネストを一週間でも十日間でも決行して国会終盤に向けて田中内閣サツパリで、むしろ物価暴騰で大もうけをしている側をゆさぶることになるのであるいは異常な混乱状態となつて不測の事態が出現する場合もあり得ること。

★だれがみても自衛隊は軍隊であり、軍隊をもつことは禁止されているのに国会で多数をもてば憲法を無視してもかまわないという議会制民主主義の空しさ―国民が切実に求めているのは物価の安定であり、国会で絶対多数をもつ政府であつても、これは正当防衛。

★そうであるとすれば、総評、中立労連傘下の八百三十万人の組織労働者がそれぞれの団結の力を発揮してインフレ退治の実力行使としてのゼネストにおよんだとしてもこれは正当防衛。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊥久保呉服店
足寄町　T二一四八

足寄町南一区　T二四三九
おでん スナック シャンブル

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊞自動車　新津はなや
足寄町西三区　T二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド　敷物一式　マットレス
小林畳店　小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい　造園　土木　造林　造材　請負
有限会社 大浦建設
足寄町芽登　T11　大浦晃

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する!
有限会社 桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区

一五〇㌔高速ボイルバランサー
レッカー車　新鋭機
RM　アクリル　調色機　導入!
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
ボンコツ車買い入れます　足寄町　T二五七八